

目次

要旨	P.1
本編	
第1章 研究の背景	P.7
1 開題	
2 理論的前提と大学知的財産への役割期待	
3 半導体企業を取り巻く変化とサイエンスエンジニアリング	
4 本報告書の構成	
第2章 理論的枠組みと大学の科学研究	P.13
1 成長の糧としての知的財産	
2 成長の限界を乗り越える	
3 知的財産のマネジメントと企業・大学経営での知的財産経営	
4 学習組織の考え方	
5 非連続な成長と知的財産	
6 インプリケーション	
第3章 アメリカにおける半導体コンソーシアムの体系と大学	P.23
1 半導体コンソーシアムのパターン	
2 知的財産規定の観点からみた特徴	
3 大学知的財産の尊重	
4 大学間連合とのかかわり	
第4章 知的財産規定	P.31
1 わが国の原則と経緯	
2 大学とのかかわり	
3 わが国の例外：HiSIM と STARC	
4 インプリケーション	
第5章 コンソーシアムのインセンティブシステムと知的財産規定の意味	P.41
1 インセンティブシステムとしての検討	
2 大学を含めたインセンティブシステム	
3 国際化の目的観からみた対比	
4 課題	

第 6 章 大学の新たな役割と知的財産・・・・・・・・・・・・・・・・ P.61

- 1 開題
- 2 従来からある役割
- 3 考えられる新たな役割

第 7 章 全体への提言と横浜国立大学への還元・・・・・・・・ P.67

- 1 開題
- 2 全体への提言
- 3 横浜国立大学への還元

参考資料編

Intellectual Property Rights Prvisions	P.75
IMS の目的	P.95
SEMATECH Collaborates with University of Queensland to Help Develop High Index Immersion Photoresists	P.103
SEMATECH Meeting Identifies Challenges to Maturing Maskless Lithography	P.105
Top NYSTAR Accomplishments	P.111
半導体製造プロセス技術のヨコ展開	P.123
大学主催成果公開セミナー：菅氏資料	P.125
国立大学法人三重大学 知的財産報告書	P.131
大学主催成果公開セミナー：パネルディスカッション	P.139
大学主催成果公開セミナー：津守氏資料	P.159
大学主催成果公開セミナー：浜名氏資料	P.163
大学主催成果公開セミナー：長尾氏資料	P.169
大学主催成果公開セミナー：研究報告	P.175
大学主催成果公開セミナー：基調講演 Dasher 氏資料	P.187
大学主催成果公開セミナー：特別講演 奥村氏資料	P.197
大学主催成果公開セミナー：特別講演 大嶋氏資料	P.223
研究体制・研究スケジュール	P.249